

東京海上日動火災

すべてのステークホルダーに ただちに労使紛争の解決を約束せよ

儲けに儲けを重ねる日本一の損害保険会社・東京海上日動が、組合に不当労働行為を行い、900人を超える外勤社員を切り捨てるという前代未聞の事件を起こしています。不当労働行為事件では東京都労働委員会から、外勤社員切捨て事件では東京地方裁判所から厳しく断罪されました。CSR（企業の社会的責任）のうち、もっとも重要なことのひとつは、労働者の雇用や権利を守り、差別をしないという労働CSR。かつて、有名なスウェーデンの社会的責任投資（SRI）コンサルタント会社GES社は、東京地裁で男女差別の違法行為をしていると判決を受けた野村證券を、投資不適格としてブラックリストに載

せたことがあります（現在はリストから除外）。違法な不当労働行為と雇用破壊を同時に続け、司法の判断を受けても従わない東京海上日動は、これよりひどいのではないのでしょうか。労働CSRをないがしろにする企業は市場から撤退を迫られます。東京海上日動は、株主、顧客、従業員—すべてのステークホルダー（利害関係者）にただちに労使紛争の解決を約束すべきです。



労使紛争を解決することは
石原会長、隅社長の重大な責務
ステークホルダーに約束せよ

抗議先

東京海上日動火災保険株式会社

〒100-8050 東京都千代田区丸の内一丁目2番1号

電話 03-3212-6211

全日本損害保険労働組合
全損保日動外勤支部

巨額の利益をあげながら、もっと儲けようと一人残らず外勤社員を切り捨てる日本一の損害保険会社。あまりのひどさに、昨年三月、東京地裁も会社を断罪しましたが、その判決にも従いません。この暴挙をやめさせるため、私たちは、六月二三日のミレアホールディングス株主総会に出席し、経営の責任を追及します。

外勤社員切捨てをやめよ
ただちに労使紛争を解決せよ

株主総会 1 週間総行動

東京海上日動

社会的批判は広がる一方 解決決断のときはいま



私たちが昨年4月にスタートした「手渡し&ポスティングビラ」も270万枚に。大きな反響をよび、損保本部には東京海上日動を批判する電話やメールが続々と届いています。地域の住民、東京海上日動の顧客、代理店、従業員の家族など多くの方々が、「あの東京海上日動がこんなことをしているなんて知らなかった。もっと詳しく教えてほしい」、「私は代理店だが、数字を挙げるためにひどい仕打ちを受けた。労働組合として何とかできないか」、「それはひどい。応援するからぜひ頑張ってください」と口々に伝えて下さいます。労働組合の支援も広がっており、行動日には、国民春闘共闘、ナショナルセンター全労連、各地域の仲間だけでなく、国家公務員、銀行、証券、新聞、民放、農協、出版、印刷、生協、教育、航空、映画演劇など広範な産業から労働者の代表がかけつけてくれます。東京海上日動に対する批判、怒り、たたかいは広がる一方です。裁判所から和解勧告が出た今こそ、会社は労使紛争の全面解決を決断するしかありません。

たたかいをご支援下さい

巨額の利益をあげる日本一の損害保険会社が、もっと儲けをあげたいからと、労働者の雇用に手をかけることが許されるのでしょうか。私たちの要求は、これまでどおり、お客様に保険を販売する外勤社員を続けさせてほしいということだけです。会社の横暴をやめさせ、要求を実現するため、全力でたたかいます。ご支援をどうかよろしくお願いします。

儲けのために労働者をいじめるな
判決を守り外勤社員切捨てをやめろ
組合から奪った200万円を返せ

判決、命令内容など詳細はホームページをご覧ください

<http://www.niu.or.jp/nichidogai/>

<http://www.geocities.jp/nichidogaikin/>もご覧ください

全日本損害保険労働組合
全損保日動外勤支部

東京都中央区新富1-6-1京橋第5長岡ビル4階
03-3551-7131